

令和2年度 学校図書館基本計画

足立区立東綾瀬中学校 校長 清野 正

1 学校教育目標

- ① 自ら学び、すすんで努力する生徒
- ② 他を思いやり、礼儀正しい生徒
- ③ 正しい判断力を持ち、心身ともに健康な生徒

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、読書習慣と読書力をつけ、心豊かな生徒を育てる。
- ② 学校図書館の情報を主体的に活用し、自ら情報の選択ができる生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 16,575冊（蔵書基準冊数 13,120冊）／ 蔵書率 126%									
	② 新規購入図書 1,039冊／ 廃棄図書 269冊／ 増減冊数 770冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.2%	4%	10.5%	9%	11%	6%	4.2%	9.6%	3.5%	40%
*国基準	6%	3%	17%	10%	15%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、毎日昼休みから17:30まで									
	② 生徒一人あたりの年間貸出冊数 4冊（前々年度：5冊）									
	③ 学校図書館利用率 406,000%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 本に親しみ、読書習慣を身につける。 ② 適切な図書資料の借り方、扱いができるようにする。 ③ 学校図書や新聞資料を使った探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。
今年度の成果目標	達成基準
① 読書環境を整え、本に親しむ機会をつくる。 ② 学校図書館の利用の仕方やきまりを知る。 ③ 図書館の本や新聞等を活用した探究活動を行い、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。	① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増 ② クラス単位の学校図書館オリエンテーションを行う。 ③ 年2回の調べ学習を実施する。

第2学年	① 様々な読み物を読もうとする意欲を育てる。 ② 課題によって学校図書やICT機器を使い分ける活動を通し、情報活用能力の育成を図る。
今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進めることができる。	① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上

第3学年	① 読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書やICT機器を活用した探究活動を通して、情報選択能力や言語能力の育成を図る。
今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② FET(総合的な学習の時間)を利用し、自ら設定した課題に応じ、本や新聞、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、効果的に表現することができる。	① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増 ② 探究活動や発表の授業を年5回以上実施するクラスの割合100%

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を12月中に完了させる。
- ② 廃棄図書を精査、確定し、教員からの購入希望書と蔵書構成を念頭におき、新規図書購入計画を作成する。
- ③ 全蔵書の3割程度について、「3桁分類」への転換作業を目指す。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学校図書館オリエンテーションの実施や図書室の開室等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③ 校外学習等、時期に応じた連携や協働に計画的に取り組む。
- ④ 学校図書館だよりや図書室内の本の展示・掲示の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上に努める。

【その他】

- ① 年度末の貸し出し返却率が100%となるよう取り組む。
- ② 中央図書館との「調べ学習用図書」の配送サービスの積極的な活用を図る。

【本計画の数値目標は、令和元年度末（臨時休校措置実施前）に設定した数値を掲載しています。】